

## 高校生・大学生によるワークショップ

### 「文化・スポーツ施設の将来を考える」の主な意見

1 テーマ : 将来(20年後)の文化的活動やスポーツはどのように変化するだろうか

テーマ は、テーマ のディスカッションを深めるために、活動における将来変化をイメージしてもらうことを想定したものとしました。

高校生・大学生の皆さまからは、テクノロジーの進化や将来のトレンドの変化も踏まえた意見が多く集まった。

(主な意見)

- ・ デジタル化に伴った工夫(VR等)が、スポーツの試合や劇場での公演で施されていく
- ・ 1人でも気軽にできるスポーツ(スケートボード)をする人が増加する
- ・ 障がい者のスポーツ人口も増える
- ・ eスポーツが活発になる
- ・ 本が全部電子書籍化する
- ・ 学生(他校)の生徒同士と一緒に勉強できる
- ・ バーチャルオーケストラで世界中の人とセッションする
- ・ ストリートピアノのように施設ではなく街に音楽が広がっていく
- ・ デジタル×スポーツの新しいジャンルが開発される

## 2 テーマ : 将来を踏まえた文化・スポーツ施設のあるべき姿を考える

テーマ は、様々な人が利用しやすくなるための文化・スポーツ施設に必要な要素やアイデアが出されたが、その中でも特に「デジタルとアナログの融合」や「1人でも寄れる気軽さ」「それぞれのニーズに合わせたゾーニング」等に関する意見が多く集められた。

(主な意見)

- ・ デジタル技術を駆使し、施設予約状況を施設でもすぐに見える状態にする
- ・ 一方で高齢者の方にはアナログでの予約方法も残し、多様な人々が気軽に利用できる空間にする
- ・ 子育て世代の方々にも配慮する
- ・ 府中の文化(田舎すぎず、都会すぎず、緑)を活用する
- ・ テレワーク用の空間機能を増やし、勉強も仕事もできるようにする(用途変更)
- ・ 1つの施設でもニーズに合わせた多様なゾーニングを定める(静かな空間と会話できる空間を両方とも設置する)
- ・ 府中市以外の人にも気軽に利用できるようにし、府中市の公共施設の充実性をアピールする
- ・ 屋外施設も屋根をかけ、全天候型の施設として効率性をさらに上げる
- ・ キッチンカーなどの招聘にて施設周辺のサービスの充実を図る
- ・ 開館時間の長期化や予約なしでも利用可能にするような気軽に立ち寄れるための工夫をする